

## <特別講演>

# ぶどうの木の歩みと今後の展開について

株式会社ぶどうの木  
代表取締役会長 本昌康氏

1975年、農大卒業と同時に家業である葡萄専業農家に後継者として就農。その前年の1974年に父が私の名義で農業総合資金(2000万円、25年償還7年据え置き)を農林公庫から借入し、30aのぶどう園拡大と、直売場を兼ねた作業場建設に充てた。就農時の経営状況は、市場出荷と直売が半々で売上約800万と、家族4人が生活していくには余裕があると言えるものではなかった。

1979年、父より経営権を譲り受け、1982年には年商3000万となる。この年の夏、直売所が忙しい最中に25席のカフェをオープン。300坪の自宅を3000万で売却し、その資金で直売場横に自宅とカフェスペースを建設。生パスタを中心としたカフェで年商1500万を目指した。開業資金の1500万は全額借入(信用金庫500万農協1000万)。その後も毎年のように設備投資をするが、ほぼ100%借り入れで資金を調達するか、出店の際はテナント側が負担する形で展開を続けた。

今期の売上予想23.5億(菓子製造販売15億レストラン8.5億)円。

1995年の盛和塾入塾とアメーバ経営導入によって経営を学ぶことができ、成長に繋げることができた。

### 【略歴】

1985年 有限会社グレーププランニング 設立/資本金300万

1989年 有限会社本葡萄園 設立/300万

1997年 (有)グレーププランニングを株式会社ぶどうの木に組織変更/資本金2000万

2004年 フランスで法人BUDOONOKI PROVENCE 設立(2011年閉鎖)

2004年 有限会社コンフィチュール エ プロヴァンス 設立/資本金300万